

明治学院大学 学長プロジェクト

『『内なる国際化』に対応した人材の育成』

## 【第4回 シンポジウム】

多様な人の学びの保障 日本に生きるすべての人のための学習権を考える

— 誰もが学ぶための機会の保障 —

2017年10月末にいわゆる「外国人労働者」は、約128万人いるとの発表がありました。さらに2018年6月に、政府は「移民」ではないとしながらも、今後50万人の外国人労働者を受け入れ、条件によっては家族の帯同もあると発表しました。今後日本に、いわゆる労働者として想定できる若者の単身者だけでなく、家族としてやってくる外国人やその配偶者および子どもが増加する可能性を示唆しています。

これまで「多文化共生」論の中では、いわゆる日本生まれの移民第二世代や、あるいは義務教育期間中に日本の学校に転入してきた子供たちの教育については、長らく議論がされてきました。しかしこうした問題が改善しないうちに、さらに多様な人たち—例えば義務教育を受けていないものの学齢が超過している人や、教育を受ける機会に恵まれなかった人など—が日本で在住する可能性が今より高くなるでしょう。こうした多様な人たちが、日本社会において主体的な生活を送るためには、より広い教育の場の確保が重要になってきます。

そこで、今回のシンポジウムでは多様な背景を持つ人たちの学習権と、その場の確保について、長らくその場を確保し活動して来た実践者の方と、その場での学習経験のある方をお招きし、現状とこれからのあり方について考えたいと思います。

日時 : 10月20日(土) 13:00~17:00

会場 : 明治学院大学 白金校舎  
本館 1201 教室

主催 : 『『内なる国際化』に対応した人材の育成』プロジェクト



このプロジェクトのウェブサイトへは右のQRコードからアクセスできます⇒